

Info
6

岐阜県瑞穂市×菊川市 「まちづくりに関する連携協定」を締結

問い合わせ 市長公室営業戦略係 (☎35-0924)

7月17日、長谷川寛彦市長らが岐阜県瑞穂市を訪問し、「まちづくりに関する連携協定」を締結しました。協定締結式は瑞穂市役所穂積庁舎で行われ、森和之瑞穂市長と長谷川市長が協定書に署名しました。

両市は駒澤大学出身の首長で組織する「駒澤大学地方自治体首長会」をきっかけに、産業祭への出展や瑞穂市長を始めとする職員の菊川市への行政視察などの交流を実施しています。

協定の締結により、優れた交通アクセスやまちを流れる一級河川と親しむかわまちづくり、地域を代表する特産品の存在など、両市の特徴や類似した特性を生かしながら、連携・協力をして、それぞれの地域の活性化および持続的な成長に向けた取組の推進を目指します。



▲締結式の様子

協定に掲げる連携・協力事項

- ① 認知度向上や交流・関係人口の創出、移住定住人口を増やす取組
- ② 駅周辺に人が集まり賑わいを創出するための取組
- ③ 豊かな自然や水辺を生かし、良質な空間を形成し、賑わいや交流を創出する取組
- ④ 両市の地域資源を生かした産業振興に資する取組
- ⑤ 未来を担うこども・若者の社会参画や郷土を愛する心を育む取組



▲瑞穂市マスコットキャラクター「かきりん」



©菊川市

これまでの両市の交流

令和6年
7月22日



意見交換・現場視察のため、森市長ら瑞穂市職員が菊川市を訪問

令和6年
11月3日



みずほふれあいフェスタに出展 深蒸し菊川茶の呈茶サービスを実施

令和6年
11月10日



菊川市産業祭に瑞穂市が出展 特産品の富有柿などを販売

令和7年
7月17日



市民講座「瑞穂大学健幸学部」受講生に長谷川市長が講演



岐阜県瑞穂市ってどんなところ？

面積	28.19平方キロメートル
人口	56,251人(令和7年7月末時点)

岐阜市と大垣市の間に位置しており、両市や名古屋市のベッドタウンとして、人や物の流れが活発な地域です。市の東には清流長良川、西には掛斐川が流れ、水に恵まれた自然豊かな地域でもあります。

名古屋まで電車でおおよそ25分、東海道新幹線を使えば東京までおおよそ2時間、大阪までおおよそ1時間半というアクセスの良さに恵まれ、合併から20年以上、令和6年まで右肩上がり人口が増加していました。

特産品は、柿、米、梨、いちごなどです。中でも国内の甘柿の中でも最優秀品種として有名な「富有柿」は瑞穂市が発祥の地。今でも母木が市内に現存しています。

